

2021年度 第2回きずなリーダー会議 報告書

日時：場所

日 時：2021年10月11日（月） 10：00～12：15
場 所：登別市総合福祉センターしんた21 多目的ホール

出席状況

【登別小学校区】	田畑恒義、桶屋純一
【幌別東小学校区】	森 芳昭、田渕利男、鳴海文昭
【幌別西小学校区】	島田幸一、石山典子、村井寿行
【青葉小学校区】	田渕純勝
【富岸小学校区】	瀧川正義、袖山 功
【若草小学校区】	南 行雄
【鷺別小学校区】	原田敬三、稲葉雅幸、竹内信子
【専門委員会】	田中秀治、牧田 大
【社協役職員】	山田正幸、藤江紀彦、坂本大輔、太田圭祐、大矢みはる、後藤光弘
	合計 23名（順不同・敬称略）



挨拶要旨

【山田 社協会長】

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

緊急事態宣言が解除されましたが、皆さんにおかれましては引き続き気を付けて活動いただきたいと思います。

久しぶりのきずなリーダー会議となりました。一堂に会することが難しい状況が続き、第4期きずな計画づくりも1年延期となりましたが今後皆さんとともに進めていきたいと考えています。

先日行ったアンケート調査により市民の意見を伺ったところ、地域の課題は16年前の第1期策定時の意見と大きく変わらない状況であると感じます。一人暮らしや障がいがあることにより災害時など有事の際にどうすればよいか、普段の支え合いをどうするかなど身近な問題や福祉について市民がどう感じているかなど、市全体として考えなければいけない課題が多くあるのが現状です。現在進めている小地域ネットワーク活動の全市展開についても関係機関が一体となって取り組まなければならないことの1つです。

今後も皆さんと力を合わせて実践していくとともに、行政を動かしていく計画をつくっていきたくて考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【田渕 きずな推進委員長】

10月に入り、様々な会議がある中お集まりいただきありがとうございます。

第4期きずな計画策定のプロジェクトチームも複数回開催し、その会議においてアンケート結果について互いに共有しているところです。報告は改めて皆さんにお示ししたいと思います。

全市・校区計画策定も当初のスケジュール通りにはなかなか進まない状況ですが、皆さん

と情報を共有しながら進めたいと考えています。

今日は講演会の視聴がメインとなります。皆さんとともに研鑽を深め計画づくりを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

II 報告事項

1. きずな推進委員の改選等について

※レジュメ 2 ページ参照

- ・校区委員会もなかなか開催できておらず、計画策定のスケジュールもタイトになってきておりますので、策定に当たっては現任委員の全面的な協力をお願いしたい。

2. 第4期きずな計画策定の進捗状況について

※レジュメ 2 ページ参照

- ・すでに実施しているアンケート調査の結果や分析等については、今後のリーダー会議で提示する予定。
- ・市のアンケートでは、市民向けのアンケートを、3000 人を対象に実施している。とりまとめ最中のため、今後も連携し合いながら進めていく。

3. ささえあいメッセージプロジェクトの実施について

※レジュメ 3 ページ 及び 別紙チラシ参照

- ・広く市民からコロナ禍の励ましや応援、コロナ終息後の希望などをメッセージとして広く市民から募集し、そのメッセージの一部を冊子にして町内会から配布することでの1つのつながりを維持する取り組みとして進めたい。
- ・チラシ裏面にメッセージカードがあるので、委員の皆さんにもご記載いただき提出いただきたい。
- ・社協としても、小学生など若い世代にメッセージをもらえるよう働きかけていく予定。

III 計画策定記念講演会の視聴

※別冊参照

- ・趣旨としては地域において複合的な課題や制度の狭間など全国的に出てきている課題を受け、地域共生社会の実現が法律に明文化されており、実現に向けた市内の先駆的な取り組みの紹介や今後必要な視点を講演いただいている。
- ・自身の地域の課題や現状を知るのはもちろんのこと、全市的な課題や取り組みを知り、機運を高めることが必要である。
- ・まずリーダーに視聴いただいた後、今後は校区委員や市民に広く見せられるよう展開したい。
- ・別に行政職員や議員向けの講演も準備しており、そちらの視聴についても別途進めている状況である。

(内容については校区きずな推進委員会内において視聴予定のため、省略。)

IV 今後のスケジュールについて

※レジュメ 4 ページ参照

- ・今後順次校区委員会においてリーダーサブリーダーの選出、第 3 期計画の評価の確認、講演会の視聴により共通認識を図っていく。
- ・その後 P T やリーダー会議において、第 4 期きずな計画の骨子やアンケート分析を行い、年内には校区推進委員会において校区計画のとりまとめを行う予定である。
- ・コロナの影響により大人数の参集が難しいため、住民座談会は予定に入れていない。
- ・校区委員会の日程は担当と調整いただきたい。

【質疑応答】

《鳴海委員》

第 4 期では小地域ネットワーク活動を重点にしたい。近隣関係が希薄な中、向こう三軒両隣や地域のきずなの精神を全市的な活動として関係機関を巻き込みながら進め、孤立のない地域をつくりたい。

そのためには地域内で連絡できる体制づくりが急務と考える。

《事務局》

全市計画への位置づけも含め、第 4 期きずな計画に生かしていきたい。

《田淵委員長》

団体間の意見交換やすり合わせの場を設けることも今後必要になってくると思うため検討を進めたい。

《原田委員》

本日聴いた講演について、とても立派なもののできたと感じるので、少なくとも町内会長には聞く機会を設けたい。

また先程の意見にもあったが、一人暮らしの方を支えるためにも地域の様々な団体と情報共有できる体制づくりは今後ますます重要となってくると考える。

《事務局》

講演会の視聴について、校区の委員会から進める予定ではあるが、町内会単位での会合等でも視聴できる体制であれば職員を派遣し対応できるよう準備を進める。

周知については、社協だけでは行き届かない部分もあるためご協力いただきたい。